

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	㈱楠町プロジェクト(仮称)新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県芦屋市楠町 26-2・27-2・29	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	300 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2022年11月15日
敷地面積	1,567 m ²	作成者	㈱エネ・グリーン 塩見絵里子
建築面積	764 m ²	確認日	2022年11月16日
延床面積	2,173 m ²	確認者	㈱エネ・グリーン 定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> 室内環境、サービス性能への配慮 再生利用が可能な資材を多く採用し環境に配慮 エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている 		
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ハイサイドライトと同等の効果をもつ大型建具の設置により光環境に配慮 内装材全てにF☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 給排水配管に長寿命材の採用、OAフロアの採用等により更新・維持管理のしやすい配慮がなされている 	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場やバルコニーの緑化計画により敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和している
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> BPIm=0.77 太陽光発電設備の採用により、省エネルギー性に配慮。 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 省水型便器、自動水栓、節水コマの採用により節水性を高めた計画 リサイクル材の多用 有害物質を含まない防水プライマーを採用 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し等、光害の抑制に努めている 省エネルギー性能に配慮し、LCCO2排出率を削減している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される